

麻しん（はしか）に注意！

麻しんに感染すると、約10日後に発熱、咳、鼻水、目の充血といった初期症状が現れ、2～3日発熱が続いた後、39度以上の高熱や発疹が出ます。発症の1日前から解熱後3日を経過するまでは、周囲の人にうつす可能性があります。

肺炎や中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人程度、脳炎症状を発症します。先進国であっても、1,000人に1人の割合で死亡すると言われています。また、妊娠されている方が感染すると、早産や流産のリスクがあります。

【参考文献：厚生労働省麻しん（はしか）HP】

麻しんかも？と思ったら…

外出を控え、受診する際は必ず事前に医療機関に電話し、なるべく公共交通機関の利用を避けましょう。

予防のためには

手洗いやマスクだけでは麻しんを予防することはできません。麻しんの発症を防ぎ、さらに流行を抑える最も有効な予防法は、麻しん含有ワクチンの接種です。

小学校入学までに、麻しん風しん混合ワクチンを2回接種しましょう。定期接種の対象となる方には個別にお知らせを送付しています。

対象者以外の方で接種を希望される場合、任意接種が可能です。母子健康手帳で接種歴を確認し、医療機関にご相談ください。

定期接種対象者	
1期	1歳～2歳の誕生日前日の間にある者
2期	年長児

※接種には依頼書兼予約票が必要です。
紛失された方はこども支援課までお問い合わせください。

夏はダニ媒介感染症に注意！！

ダニ媒介感染症とは、ウイルスや細菌などをもつダニに刺されることによって発症する病気です。野外作業や農作業、レジャー等で、ダニの生息場所（草むらやヤブなど）に立ち入ると、刺される危険があります。

ダニに刺されないよう、次のポイントに特に注意してください。

外出前のポイント

- ☐ 明るい色の服を選ぶ
(マダニを目視で確認しやすいため)
- ☐ 長袖・長ズボンを着る
- ☐ 足を完全に覆う靴をはく
(×サンダル)
- ☐ 帽子をかぶる
- ☐ 手袋をはめる
- ☐ 首にタオルを巻く
- ☐ 虫除け剤を使う



帰宅後のポイント

- ☐ 上着や作業着は家の中に持ち込まない
- ☐ かまれていないか確認する
特に、わきの下、足の付け根、手首、
膝の裏、胸の下、髪の毛の中 など
- ☐ (ペットの散歩後) ブラッシングをする



マダニに刺された場合

無理に引き抜かず、皮膚科（ペットは動物病院）を受診してください。

またその後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱などの症状が出た場合は、早めに医療機関を受診してください。

【参考文献：厚生労働省HP「ダニ媒介感染症」】

他にも様々な動物由来の感染症があります。詳しくは右の二次元コードから厚労省ホームページをご覧ください。

